

## 児童福祉学科 和泉の10の力(5つのコンピテンシー含む) ルーブリック

子どもの成長にとって重要な乳幼児期(学童期)における保育と福祉にかかわる価値観、知識・技能、実践力を身につけます。

4つの軸	和泉の10の力	定義	レベル4 (十分身につけている)	レベル3 (ある程度身につけている)	レベル2 (少しは身につけている)	レベル1 (身につける準備ができています)
I 教養	1. 人権の尊重 (教養基盤形成系)	建学の精神を基調として、高い倫理観を培う。子どもや利用者の人権を尊重し、より豊かな人生をささえることができる	高い倫理観をもち、子どもや利用者の人権を尊重し、より豊かな人生をささえることができる	高い倫理観をもつこと、子どもや利用者の人権を尊重し、より豊かな人生をささえることの重要性について他者に説明することができる	高い倫理観をもつこと、子どもや利用者の人権を尊重し、より豊かな人生をささえることの大切さを理解することができる	倫理観や人権について考え、一人ひとりを尊重することの大切さを理解することができる
	2. 礼節を重んじ良識ある行動ができる (キャリア基盤形成系)	保育・福祉の実践者としてふさわしい、挨拶、礼儀、マナー、言葉遣いを身につけ、信頼される人となる	保育・福祉の実践者としてふさわしい、挨拶、礼儀、マナー、言葉遣いを身につけ、信頼される人となる	保育・福祉の実践者としてふさわしい、挨拶、礼儀、マナー、言葉遣いのうちいずれか3つは身につけている	保育・福祉の実践者としてふさわしい、挨拶、礼儀、マナー、言葉遣いのうちいずれか2つは身につけている	保育・福祉の実践者としてふさわしい、挨拶をすることができる
	3. 基礎学力 (キャリア形成と技術系)	文章表現力、読解力、数的推理を身につけ、健康・スケジュール管理に努めることができる	文章表現力、読解力、数的推理の3つを十分に身につけ、健康・スケジュール管理に努めることができる	文章表現力、読解力、数的推理のうちいずれか2つを身につけ、健康・スケジュール管理に努めることができる	文章表現力、読解力、数的推理のうちいずれか1つを身につけ、健康・スケジュール管理に努めることができる	文章表現力、読解力、数的推理の力を身に付けるよう努力している
II 原理	4. 多様性の尊重 (社会福祉学系)	さまざまな人々が共生する社会の実現に向け貢献できる	さまざまな人々が共生する社会の実現に向け貢献できる	さまざまな人々が共生する社会の実現の必要性について理解したうえで他者に説明することができる	さまざまな人々が共生する社会の実現の必要性について理解することができる	さまざまな個人々が社会に存在していることを理解することができる
	5. 社会貢献 (保育・教育学系)	思いやりの心で子どもや利用者に寄り添い、地域や社会の保育・福祉の発展に寄与できる人材として活躍できる	思いやりの心で子どもや利用者に寄り添い、地域や社会の保育・福祉の発展に寄与できる人材として活躍できる	思いやりの心で子どもや利用者に寄り添い、地域の保育・福祉の発展に寄与するために行動ができる	思いやりの心で子どもや利用者に寄り添い、地域の保育・福祉の発展に寄与しようとする気持ちをもっている	思いやりの心で子どもや利用者に寄り添うことができる
III 知識・技能	6. 保育・福祉の知識と技能 (保育・福祉の概論と指導法系 1.社会福祉 2.保育・教育 3.心理)	保育・福祉に関するさまざまな知識と技能を習得する。	保育・福祉に関するさまざまな知識と技能を十分に習得している	保育・福祉に関するさまざまな知識と技能を習得している	保育・福祉に関するさまざまな知識と技能を一部習得している	保育・福祉に関するさまざまな知識と技能を習得に向け努力をしている
IV 実践力	7. 自ら考える力 1.社会福祉の実践と省察 2.保育・教育の実践と省察	課題に対し、身につけた知識や技能をもとに、情報収集や判断・分析ができる。多角的な視点から主体的に考えることができる。	課題に対し、身につけた知識や技能をもとに、情報収集や判断・分析ができる。多角的な視点から主体的に考えることができる。	課題に対し、身につけた知識や技能をもとに、情報収集や判断・分析ができる。主体的に考えることができる。	課題に対し、身につけた知識や技能をもとに、情報収集や判断・分析ができる。	課題に対し、主体的に考える姿勢をもっている
	8. 自ら行動する力 1.社会福祉の実践と省察 2.保育・教育の実践と省察	各科目での学修の取組やボランティア活動等を通じて、保育・生活技術を身につけ、自らの考えに基づき主体的に行動することができる	各科目での学修の取組やボランティア活動等を通じて、保育・生活技術を十分に身につけ、自らの考えに基づき主体的に行動することができる	各科目での学修の取組やボランティア活動等を通じて、保育・生活技術を身につけ、自らの考えに基づき主体的に行動することができる	各科目での学修の取組やボランティア活動等を通じて、保育・生活技術を身につけている	各科目での学修の取組やボランティア活動等を積極的に行うことができる
	9. 実践する力 1.社会福祉の実践と省察 2.保育・教育の実践と省察	授業、実習、ボランティア活動等で学んだことを生かし、保育・福祉の実践現場のニーズに合わせて保育内容を実践し、振り返ることができる	授業、実習、ボランティア活動等で学んだことを十分に生かし、保育・福祉の実践現場のニーズに合わせて保育内容を実践し、振り返ることができる	授業、実習、ボランティア活動等で学んだことを生かし、保育・福祉の実践現場のニーズに合わせて保育内容を実践し、振り返ることができる	授業、実習、ボランティア活動等で学んだことを生かし、保育・福祉の実践現場のニーズを把握することができる	授業、実習、ボランティア活動等で学んだことを生かそうとする姿勢をもっている
	10. コミュニケーション力 (キャリア形成の技能修得と省察)	コミュニケーションスキルを身につけ、他者の気持ちに寄り添い、受容と共感をして支援することができる	コミュニケーションスキルを十分に身につけ、他者の気持ちに寄り添い、受容と共感をして支援することができる	コミュニケーションスキルを身につけ、他者の気持ちに寄り添い、受容と共感をして支援することができる	コミュニケーションスキルを身につけ、他者の気持ちに寄り添うもしくは受容と共感をして支援することができる	コミュニケーションスキルを身につけることができる

\* 和泉の10の力とは、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、和泉短大の教育を受ける中で身につけることができる10個の力のこと。

\* ルーブリックとは、学習到達状況を評価するための評価基準のこと。